



平成28年8月10日

各 位

上場会社名 株式会社山田債権回収管理総合事務所  
 代表者 代表取締役社長 山田 晃久  
 (コード番号 4351)  
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 湯澤 邦彦  
 (TEL 045-325-3933)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月10日付「平成27年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しております平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,320	272	221	108	25.49
今回修正予想(B)	1,257	299	273	265	62.41
増減額(B-A)	△63	27	52	157	
増減率(%)	△4.8	9.9	23.5	145.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	1,209	231	216	37	8.72

#### 修正の理由

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正理由は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間において、主力のサービサー事業は、大口の再生案件が大きく売上に寄与するとともに、既存の購入済債権からの回収が比較的順調に推移したことから、売上高はほぼ計画通りに達成できる見通しです。

また、販売費及び一般管理費におけるバルク債権に対する貸倒引当金繰入額が計画の範囲内に留まることに加え、サービサー事業の回収が進んだことにより借入金返済が計画を上回って進んだため、支払利息が計画を下回る結果となること等により、営業利益、経常利益はそれぞれ計画を上回る見通しであります。

さらに、当社保有の上場有価証券等を売却したことによる有価証券売却益を特別利益に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画を上回る見通しであります。

なお、平成28年12月期通期の連結業績予想数値につきましては、現時点において不確定要素が多く、前回発表の予想から変更はいたしません。修正が必要となった場合には改めて開示します。

以上